

# 巻 頭 言

JFE スチール 常務執行役員  
鉄粉セクター長

守 安 進



我が国の鉄粉の用途は70%程度が粉末冶金用であり、製造される焼結部品の90%程が自動車に使われています。この10年間程度は自動車生産台数の増加による鉄粉の需要拡大だけでなく、軽量化や燃費向上のための可変バルブシステムへの適用などより自動車1台当たりに搭載される焼結部品の重量が増加することで鉄粉の需要が拡大してきました。

しかし、2008年後半の米国の金融危機を発端とする自動車生産台数の大幅な減少により、鉄粉の需要も大きく落ち込み、2009年中盤以降の生産台数の回復により増加したものの、2010年度も2008年前半のレベルまでは戻っていません。

今回の世界的な経済危機を契機に、世界各国でCO<sub>2</sub>削減への取り組みの強化、消費者の環境意識の向上などにより、ガソリンエンジン車からハイブリッド車や電気自動車への流れが急速に加速しており、同時にガソリンエンジン車においても、いっそうの軽量化への取り組みが行われています。さらには、中国、インド、ブラジルなどの経済成長著しい地域で自動車各社の販売競争が激化してきており、焼結部品へのコストダウン要求がいっそう強まっています。

このような環境下、この数年間、(1)高密度化、高強度化による自動車の軽量化につながる鉄粉、(2)市況影響を受け難くて高強度を達成できる省資源型の鉄粉、(3)お客様でのプレス成形や焼結、後加工のコスト削減につながる鉄粉といった観点から開発を進めてきました。本特集号ではこのような観点で開発された特長ある商品をご紹介します。

鉄粉事業は、「常に世界最高の技術を持って社会に貢献する」というJFEグループの企業理念に基づき、今後もお客様の総合的なコストダウンにつながる技術、さらには粉末冶金や化学反应用などの市場拡大に貢献できる技術の開発に取り組んでまいります。

引き続き、皆様からのご意見やご支援をいただければ幸いです。